



令和5年5月号 Vol.65
情報メディア教育センター

本の帯に、ココロ刺さる。

書店で「なんか面白い本ないかなー」と本を探するとき、頼りになるのが本の帯。小さなスペースなんだけど、刺さる言葉でその本の魅力をしっかりと伝えてくれていて、「この本読んでみようかな」と心が動くこと、結構あります。

本の表紙と上手く融合したデザイン性の高い帯もあり、そうなるのもアートですね。今月はそんな「本の帯」にスポットをあてた展示やっています(^_-)-☆



新しい司書が入りました。皆さんどうぞよろしくお祈いします

こんにちは、はじめまして。新しく司書として勤務させていただく事になりました。矢田と申します。以前は公共図書館に勤めていました。2年前までは、鈴鹿市内の小中学校の図書室にいたこともありますので、もしかしたらお会いしたことがある方もみえるかもしれません。声をかけて頂けたければうれしいです。

私は雑読で、新聞からラノベまで活字であればいたいなんでも読みますが、せっかくなので、自己紹介のつもりで、「記憶」に残っている本を紹介します。



まずは中学生の時読んだ『はてしない物語』（ミヒャエル・エンデ 著）なかなか人見知り具合をはっきりしていた中学生時代、昼休みの使い方に苦労し、結果連日図書室へと通いつめ、禁帯出のシールが貼ってあるこの本を少しずつ読んでいた事が中学時代の思い出です。

次は、人生で最初に一気に読みました本です。

『エジプト十字架の謎』（エラリー・クイーン 著）

しかも、自分自身の読むスピードの遅さにイライラし、禁じ手である「後ろから読む」という愚行を犯しました…（あまりの悔しさに記憶に残っています）

1900年代前半に書かれた小説なので少々古いのですが、新訳も出版されています。スマホ等現代の便利なツールが全く登場しないミステリー、今読むと返って新鮮かもしれません。両方とも、学生時代に読んだ本ですが内容というよりは、図書室という場所の空気感、本の手触り、その時の感情そういった事が「記憶」に残っています。



私にとって本は動かなくても、頭の中だけで、いろいろな場所、知らない事、たくさんの感情を教えてくれる物であり、今でも何十年も前の事が思い出せるツールでもあります。みなさんの学生生活が楽しいものになるように、自分自身にピッタリと思える何か、長く記憶に残る何かを見つけるお手伝いができればと思います。よろしくお祈いいたします。（矢田）





新着図書ピックアップ



『犬も食わない』

尾崎世界観・千早茜【著】

芥川賞候補作家・尾崎世界観と直木賞作家・千早茜の共作。同棲中の恋人の生活を、男女の視点別に描く恋愛小説です。二人に起きた日常の些細なトラブルに対して、男女の視点で一話ずつ入れ替わり、尚且つ作家が違うので、人によって受け取り方がこんなにも違うのかと、二人のやり取りにイライラ…全く羨ましくない恋愛小説ですが、実際の恋愛はこんなものなのかもしれません。恋愛なんて、他人からみれば「犬も食わない」ですから。(矢田)



『香川綾の歩んだ道』

香川綾・香川芳子【著】



先日、『キッチン革命』と言うドラマでモデルにされていた、香川綾さんの自伝です。料理をより身近に誰にでもより簡単にできるように考え出した、女子栄養大学の創立者。また医学博士であり栄養学を世間に広めました。胚芽米にビタミンB1が多く含まれていて脚気の予防に役立つことを提唱したり、4群点数法や、一般家庭に計量スプーン・計量カップが普及することになったのも彼女の活動によるものだそうです。女性にとってはその時代、大変困難であったであろう勉強や活動も、サラリとこなしているように思います。何よりイキイキと勉強されていることが、とても羨ましく、素敵だなと感じました。(大原)

『全員がサラダバーに行ってる時に全部のカバン見てる役割』

岡本 雄矢【著】

選び抜いた言葉で紡ぎだす31文字の芸術、奥深い「短歌」の世界にはまっています。本書は最近見つけた超おススメ短歌集。著者岡本さんは歌人芸人で、ひたすら小さな不幸に見舞われるトホホな日々を歌にしています。大爆笑したり、ほろっとしたり、その作品には独特な味わいがあります。表題作以外にも珠玉の短歌がいっぱい詰め込まれていますよ。

- あの数ある自転車の中でただ1台倒れているのがそう僕のです
- 死にたいと呟くあいつの腸にまで生きて届いているビフィズス菌

みんなも好きな短歌を見つけてみてね。(大塚)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

読みかけの本がカバンにあるのをかっこいいと思っている

藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.59 「#真相をお話します」 結城 真一郎【著】



5月の開館予定

5月		
1	月	8:10-17:50
2	火	8:10-17:50
3	水	休館
4	木	休館
5	金	休館
6	土	休館
7	日	休館
8	月	8:10-17:50
9	火	8:10-18:50
10	水	8:10-18:50
11	木	8:10-18:50
12	金	8:10-18:50
13	土	休館
14	日	休館
15	月	8:10-18:50
16	火	8:10-18:50
17	水	8:10-18:50
18	木	8:10-18:50
19	金	8:10-18:50
20	土	休館
21	日	休館
22	月	8:10-17:50
23	火	8:10-17:50
24	水	8:10-17:50
25	木	8:10-17:50
26	金	8:10-17:50
27	土	休館
28	日	休館
29	月	8:10-17:50
30	火	8:10-17:50
31	水	8:10-17:50

先日、本屋大賞 2023 の対象作品が発表されましたね。EMC では、毎年本屋大賞の特設コーナーを設け、そこで本屋大賞受賞作品を予想する予想大会たるものを開催していました。残念ながら的中者はいませんでした。参加してくれた皆様ありがとうございました。来年こそは当ててくださいね♪豪華景品を用意していますので(^^)／

本屋大賞 2023 ノミネート作品の中から、個人的に表紙や書評を見て本屋大賞受賞すると予想した『#真相をお話します』を読みました。残念ながら本書は、本屋大賞 2023 ノミネート 10 作品のうち、第 10 位とノミネート作品の中で最下位という結果でした。(俺…見る目ないな(ノ 口)・°・。)

初めましてミステリー小説。ということでミステリー小説を読むのが初めての私。どうしてもミステリー小説はダークというか…バッドエンドで終わるようなイメージがあって、なかなか手に取る機会がなかったです。ただ、今回は“まさかのどんでん返し”の書評や斬新な表紙デザインに惹かれたワケです。正直、ジャンルによって合うもの合わないものがあると思います。個人的にはやっぱりミステリー小説は合わなかったです。バッドエンドで終わることが多いことや犯罪者心理を感じながら読み進めることに抵抗があったからです。私はそういうドキドキではなくて、違うドキドキを感じられる小説の方が好みであることが分かりました。かと言って、決して本書が面白くなかったわけではありません。

全5編から編成される短編小説で、1日1編ペース5日で読み終えることができました。が、各作品 絶対誰かが最後にハメられる。最も好きなジブリ作品が魔女の宅急便の私からすると読み進めるのが結構ツラかったです(;▽)

ただ、本書の表紙のデザインにも採用されている #拡散希望 は一番面白かったです。離島に移住してきた小学生3人組と、もともと島生まれの女子の4人で YouTuber になろうと決めた。

しかし、ある事件が起きてからなぜか島の人たちの態度がよそよそしい。3年後、YouTube 生配信で、ある真相を話し出す…。なんと YouTube を絡めたミステリー。

現実世界でも十分ありえる設定がなんだかリアルで残酷でした。



第57回 中江 孝志先生おすすめ

「夢」が「現実」に変わる言葉」 福島正伸【著】

ある経営者を励ますために、10年にわたって送り続けた「元気が出るハガキ」の中から、心に響く言葉を集めたこの本。「本気」「やる気」「魂」「壁」「生きる意味」など現代の若者からしたら少し鬱陶(うつとう)しい言葉に聞こえるかもしれませんが、今を生きる皆さんだからこそ、これら言葉から何かを得ることが出来る一冊となっています。ぜひ手に取ってみてください。

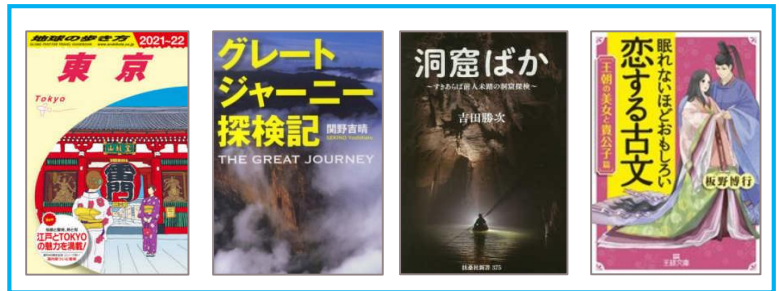
※お薦め本はリレー連載です。次のバトンほどなたに渡るかな？



●鈴鹿中等教育学校 保護者会様より図書
の寄贈いただきました。「地球の歩き方東
京」「グレートジャーニー探検本」「宇宙兄
弟」、大人気本「ちはやふる」(最終巻)等。

●蔵書強化・・・英検や漢検に加え、18
歳＝大人について書かれた本、仕事本、地
図でスッと入る・ブルーバックスなどいつ
もより多く揃っています。

どちらも興味深い本ばかり。カウンター前
をチェックして下さいね。



2F
メイン
展示

帯で本を
えらんで
みよう

書籍にクルリと巻かれた、あの帯。あらすじや著者の紹介、他の作家さんの推薦文の他、目を引くデザインのものなど、実は個性豊かなものがたくさん。どんな本があるでしょうか?お楽しみに。

2F
カウンター
前展示

身近なお金の話

近年盛んになってきた“お金の教育”。10代向けの欧米の翻訳本、人気Youtuberの解説本、マンガや小説など。身近なことでもあり、将来に関わってくることを様々な角度から覗いてみませんか。

本屋大賞決定!!!



本屋大賞2023は、『汝、星のごとく』 尻良ゆう(著)に決定!
2位『ラブカは静かに弓を持つ』安壇美緒(著)、3位『光のところにいてね』一穂ミチ(著)、
4位、『爆弾』 呉勝浩(著)、5位『月の立つ林で』青山美智子(著)、6位『君のクイズ』
小川哲(著)、と続きました。図書館に置いてありますので借りにきてね。

図書館からのお知らせ

- 5月は中間テストがあります。グループ学習室は、テスト期間中混みあうので気をつけて下さいね。1週間前から予約可能です。
- 6/5(月)～6/9(金)まで蔵書点検の実施で、完全閉館(立入禁止)です。

編集後記 新学年から1か月経ちました。EMCのご利用もお待ちしています♪。(大原)



新茶の季節
ですね♪